

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

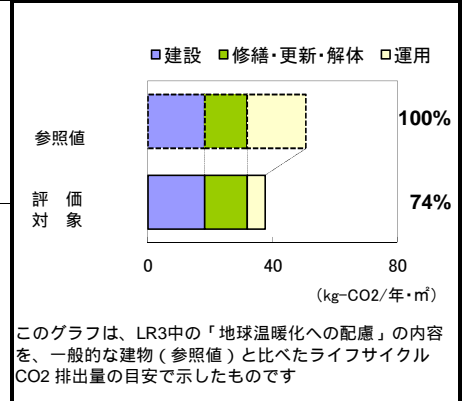
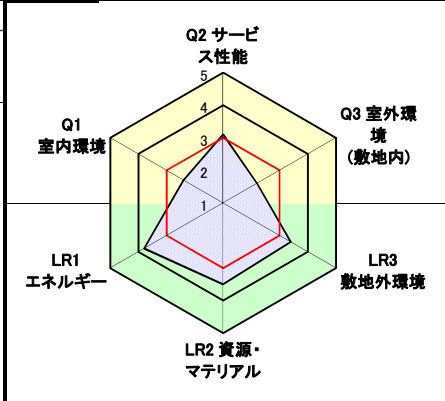
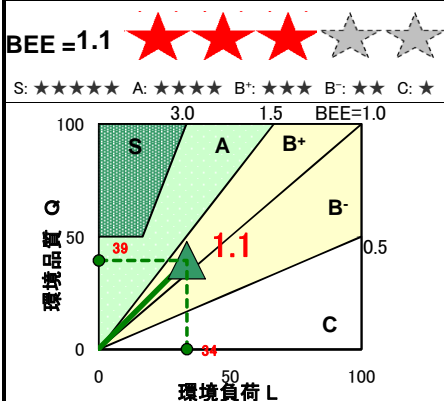
1. 建物概要					
建物名称	コメリ新潟資材センター				
建設地	南区 清水字拾参番割8515-2				
用途地域	市街化調整区域				
建物用途	工場				
竣工年	2013年7月 予定				
敷地面積	7,982.00 m ²				
建築面積	3,891.00 m ²				
延床面積	3,916.82 m ²				
階数	地上2F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2013年2月1日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{39}{34} = 1.1$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.3		バリアフリー	Q2.1.1.3	-
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 2.6		維持管理	Q2.1.3	3.5
			更新性	Q2.3.3	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.2
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
			まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
外壁・屋根にガルバリウム鋼板を使用しメンテナンス性・耐久性に配慮することにより、建物の長寿命化を図っている。 また、照明設備にはLEDを、衛生器具には節水型を使用する事により、資源の保全を図っている。					

CASBEE[®]新潟

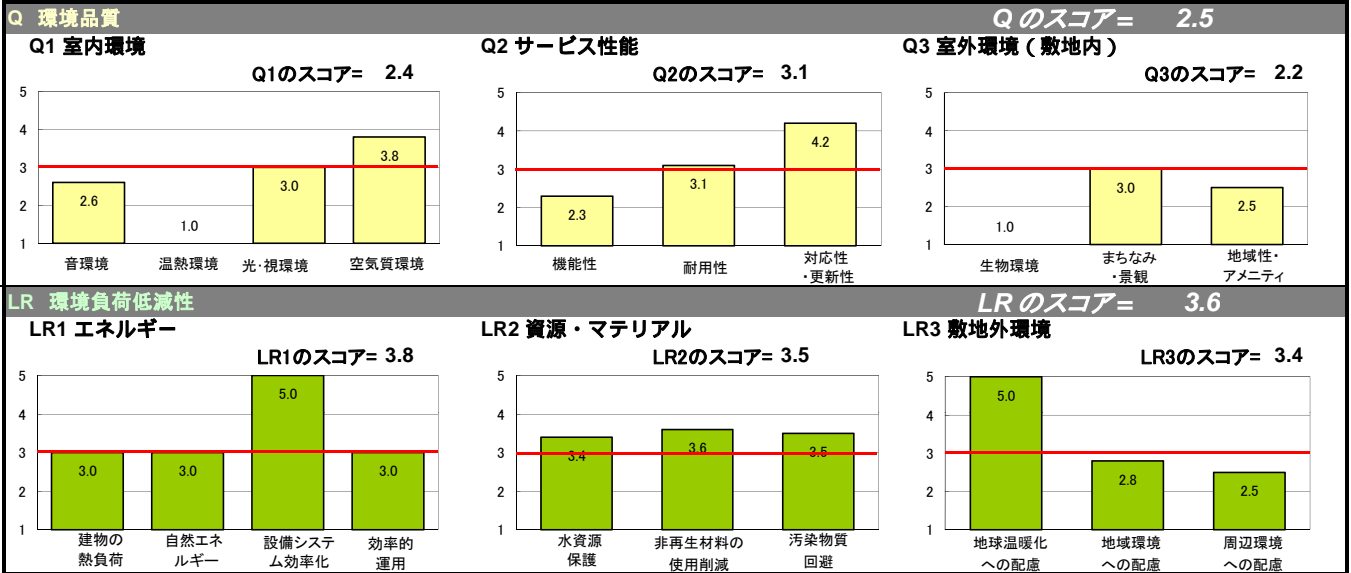
評価結果内訳

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル, CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | **2-2 大項目の評価(レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 メンテナンスのしやすいよう計画を行った。外装材には防汚性のある材料かつ、更新期間が長くなる材料を選定した。また、資材レイアウトをフレキシブルに変えられるよう、柱のみの空間とした。		その他
Q1 室内環境 F 以上の建材を全面的に使用し、化学汚染防止に対応しています。	Q2 サービス性能 床材、外壁等に防汚性の高い材料を使用し、メンテナンス性に配慮する計画としています。	Q3 室外環境(敷地内) 出荷用車両を覆う事の出来る庇を設置し、荷捌き作業時の効率化を図ると共に敷地内の風通しに寄与する計画とした。
LR1 エネルギー 照明機器において効率のよい機器を選定した。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を積極的に使用する計画とした。	LR3 敷地外環境 建物の見付面積、後退距離に配慮し、周辺地域への風通しを確保する計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される